

WS 4	街角の文化遺産に学ぶ—関東大震災から100年				※座学と野外学習
	【定員】30名		【受講料】2年・1年会員ともに10,010円		聴講生11,440円
	『川崎学』【ワークショップ】まち歩き(川崎学) 【時間】毎回 講義は10時30分～12時00分、野外学習は10時00分～12時00分(計7回)				
概要	東日本大震災後の復興事業は10年が経過しても、その検証を含めていろいろな課題が指摘されています。関東地域では南海トラフの地震に対しての情報がなされ、国や自治体の対策などが出されています。今年には関東大震災から100年ということで、その実態はどのようなものであったのかを再検証し、災害の実態を分析して把握することで、当時と現在の情報の違いなど様々な背景を知り、課題をもとに学習を深めていきます。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	10/4(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	関東大震災の震源と被害の実情を知り、課題を持つ	日本地名研究所研究員 菊地恒雄	
2	10/11(水)		関東西部地震のメカニズム	神奈川県温泉地学研究所主任研究員 本多 亮	
3	10/18(水)	現地	秦野の震生湖付近のようす	神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員 笠間友博	
4	11/8(水)		根府川付近の災害鎮魂碑など		
5	11/22(水)		東京都慰霊堂見学 及び 都市部の被害の実態(講義)	立命館大学歴史都市防災研究所客員研究員 北原糸子	
6	11/29(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	神奈川県内の震災遺構と災害慰霊碑	日本地名研究所研究員 菊地恒雄	
7	12/13(水)		大正12年と13年の川崎市域 震災後のまちづくり		
連絡 事項	※10/4(水)は10時00分より30分間オリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施します。 ※見学場所によっては、拝観料・見学料が必要な場合があります。				